

## 2021年3月期決算補足資料

### I. 2021年3月期決算概要(連結損益)

(単位:百万円)

	2020/3実績	2021/3実績	前期比
売上高	19,350	21,270	+9.9%
売上総利益	13,347	14,570	+9.2%
率	69.0%	68.5%	▲0.5%p
販管費	12,515	13,774	+10.1%
営業利益	831	795	▲4.3%
営業外収益	152	145	▲4.8%
営業外費用	13	54	+294.4%
経常利益	970	886	▲8.6%
率	5.0%	4.2%	▲0.8%p
特別利益	89	226	+153.1%
特別損失	314	379	+20.4%
親会社株主に帰属する	389	348	▲10.6%
当期純利益	2.0%	1.6%	▲0.4%p

※当第1四半期より、台湾海德沃福股份有限公司(HARD OFF TAIWAN INC.)、ECO TOWN USA INC.、リンクチャネル株式会社を、第3四半期より株式会社エコプラスを連結開始。

#### ■売上高

- ・国内既存店売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い多数の店舗で営業時間の短縮や休業を行った結果、4月は14.6%減、5月は5.9%減と苦戦。6月以降は順調に回復し1月を除き前年を上回って推移。  
1月は、店舗数の多い日本海側において大雪の影響により客数が大幅減少、他の地域においても緊急事態宣言による外出自粛の影響から8.6%の大幅減。以上の結果、通期の既存店売上高は0.3%減。
- ・インターネット販売は、前期比約1.9倍(既存店ベース)と好調に推移。
- ・米国では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ハワイ州の1店舗、カリフォルニア州の2店舗が約2か月半、休業した結果、売上高は大幅減。
- ・新たな連結対象4社の売上高が寄与した結果、全社売上高は9.9%増。

#### ■利益

- ・利益率の高い衣料品が不振だったことにより、売上総利益率が0.5%ポイント低下、一方、経費削減に取り組むものの、特に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた米国子会社の赤字を吸収できず、営業利益は4.3%減、経常利益は8.6%減。
- ・投資有価証券売却益等の特別利益226百万円、米国及び国内の店舗の固定資産の減損損失等の特別損失379百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、10.6%減。

## II. 2022年3月期連結業績の見通し

(単位:百万円)

	上期予想	下期予想	通期予想	前期比	
売上高	11,750	12,250	24,000	+12.8%	
営業利益	520	680	1,200	+50.8%	
経常利益	575	725	1,300	+46.6%	
率	4.9%	5.9%	5.4%	+1.2%p	
親会社株主に帰属する	400	300	700	+101.1%	
当期純利益	率	2.3%	2.4%	2.9%	+1.3%p

### ■売上高

既存店売上高は前期比+2%

全社売上高は12.8%の増収(26期連続)、過去最高更新を見込む。

### ■営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

増収効果によりそれぞれ50.8%、46.6%、101.1%の増益を見込む。

## III. 配当

	2020/3期 実績	2021/3期 予定	2022/3期 予想
1株あたり配当金	40円	35円	35円
配当性向(連結)	138.5%	136.7%	69.4%

**配当性向50%程度を目安として**、各期の業績や内部留保等を総合的に勘案のうえ安定的な配当を実施

## IV. リユース店舗数

(単位:店)

	2021/3期(実績)		2022/3期(見込み)	
	期末店舗数	期中増減	期末店舗数	期中増減
直営店	389	+66	404	+15
FC加盟店	524	▲51	534	+10
リユース店舗合計	913	+15	938	+25

### \* 2021/3(実績)増減の内訳

直営店:新規出店12店舗、閉店6店舗、FCから60店舗移管(何れも国内)

FC加盟店:新規出店14店舗(国内13、海外1)、閉店5店舗(国内)、  
直営へ60店舗移管(国内)

\* 新刊書籍販売店「ブックオン」3店舗は含めておりません。